

復興の将来像
(復興ビジョン)

～希望ある復興を目指して～
球磨川と共に創る みんなが安心して住み続けられるまち

復興の基本方針

(1)安心・安全な地域づくりに
向けた復興

(2)未来への希望につながる復興

(3)市民一丸となって取り組む復興

復興施策の
3つの柱

(1)被災者のくらし再建と
コミュニティの再生

(2)力強い地域経済の再生

(3)災害に負けないまちづくり

早急に取り組む
べき施策

●「地域支え合いセンター」の巡回訪問等を通じて、被災者へのきめ細やかな支援を行います。

●転居費用の助成や住宅融資に係る利子助成等住まいの再建支援を行います。

●仮設商店街を設置し、事業者の再建を支援します。

●球磨川や支流に流れ込んだ流木や堆積土砂の撤去、護岸の早期復旧に取り組みます。

●想定最大規模の降雨(L2)を対象とした浸水想定区域図を全世帯に配布します。

●防災行政無線戸別受信機を今回浸水した世帯へ設置します。(R3年中に全世帯設置)

●避難ルートや安全な避難場所の確保に加え、実践的な避難訓練により「逃げ遅れゼロ」を目指します。

●住まいの再建に向け、地域の状況や課題に応じた「復興まちづくり計画」を策定します。

※次の出水期前
までに実施。

計画期間

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
喫緊の取組（第4章）							
中長期的な取組（第5章）							

復興施策の3つの柱

①被災者のくらし再建とコミュニティの再生

(1) 被災者に寄り添った生活支援

- ① 生活再建に向けた各種制度の利用促進、情報提供の充実
生活再建に向けた相談体制の充実、被災者の状況や事情に配慮した総合的な被災者支援
- ② 被災者に対する支援体制の強化
被災者の心身のケア、被災者に寄り添ったきめ細やかな支援

(2) 住まいの再建・確保

- ① 当面の住まいの確保、被災住宅の応急復旧支援
住居の確保が困難な被災者に対する住まいの再建支援
- ② 被災住宅等の解体・撤去支援
公費による解体・撤去支援／自費で解体した場合の費用支援／住宅等に流入した災害廃棄物・土砂の撤去支援
- ③ 長期的な住まい確保の支援
住宅融資等にかかる利子助成／地盤のかさ上げや高台移転の検討／災害公営住宅の整備による長期的な住まいの確保

(3) 暮らしを支える生活基盤等の復旧

- ① 生活基盤等の復旧
市民生活に直結するインフラやライフラインの応急復旧及び早期の本格復旧
- ② 公共交通機関の復旧
被災した交通インフラの代替手段の確保、くま川鉄道やJR肥薩線の早期復旧
- ③ 文化財等の復旧
地域の宝である国宝、国や県の指定文化財や地域の神社、お堂、祠等の未指定文化財等の早期復旧に向けた支援

(4) 地域コミュニティの再生

- ① 地域コミュニティの活動拠点の再生支援
地域コミュニティの活動拠点となる自治公民館の早期再建支援
- ② 地域コミュニティの再構築に向けた支援
地域コミュニティの再構築に向けた、地域ごとの「復興まちづくり計画」策定／新たなコミュニティの構築支援

(5) 子ども達に向けた支援

- ① 子ども達に向けた支援
子ども達の心身のケアと継続的な見守り／仮設住宅から通学する児童生徒の通学支援／ICT機器等の環境整備・充実

「緑の流域治水」に関する本市の基本的な考え方

- ・流域全体で waters を軽減させる治水対策である「流域治水」については、国・県及び流域市町村などあらゆる関係者が一体となって、しっかりと取り組みます。
- ・その対策については、下流域にも配慮しながら取り組むとともに、治水対策、治山対策いすれについても、国や県、関係機関と十分に連携を取りながら、防災・減災対策に取り組みます。
- ・集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、雨水浸透桝の設置等、地域の特性に応じた対策を総合的に進めます。
- ・新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策として、地域と連携した水田貯留機能のフル活用による「田んぼダム」の推進を行います。

②力強い地域経済の再生

(1) 商工業の再生・復興

- ① 事業再開に向けた支援
被災した事業者の事業継続や雇用の維持、早期の事業再開支援／離職者へのきめ細やかな支援／事業者の防災体制強化
- ② 賑わいの創出
仮設商店街や復興イベントによる賑わいの創出／中心市街地の再生・賑わい創出に向けた支援／回遊性を高めて消費を取り込む新たなまちづくりへの取組
- ③ 競争力の強化
地域資源の磨き上げによる新たな産業や雇用の創出

(2) 観光の再生・復興

- ① 観光名所・観光施設の復旧
観光資源、観光拠点の早期回復／事業再開に向けた支援
- ② 観光業の再興と新観光戦略の構築
観光資源を活かした観光客の誘致／災害前よりさらに訪れたい人吉球磨の観光再生に向けた受入体制の強化

(3) 農業の再生・復興

- ① 農地、農業用施設等の早期復旧と営農再開に向けた支援
農地や農業用施設等の早期復旧、早期の営農再開に向けた支援
- ② 競争力の強化
農林産物の販路拡大、6次産業化に向けた支援／将来的な農業経営を見据えたスマート農業等、生産性と収益性の高い営農活動の取組推進

(4) 林業の再生・復興

- ① 林道等の早期復旧
林道や森林作業道等の路網の早期復旧／計画的な砂防・治山事業の推進
- ② 競争力の強化
豊富な森林資源を活かした循環型林業の推進／スマート林業、球磨ヒノキの産地ブランド化等、魅力ある林業の実現

(5) 新たな産業や人材・雇用の創出

- ① 新たなしごとの創出
持続可能な地域経済を見据えた新たなビジネス創出へのサポート／IT企業など様々な企業等への誘致活動
- ② 工業用地や市の遊休資産等を活用した企業誘致の積極的展開
雇用効果が見込める製造業等の立地可能性の模索／積極的な誘致活動の展開
- ③ 新産業・雇用創出を生み出す「地域づくり」
社会的課題の解決に資する起業と移住の促進／今次災害を通じた支援者とのつながり継続、交流人口や関係人口等の拡大、地域活性化につながる取組の推進

③災害に負けないまちづくり

(1) 災害に強い都市基盤づくり

災害に強い社会基盤の整備

- ① 道路・橋りょうの早期復旧・強靱化
- ② ライフラインの強化
- ③ 情報基盤の強化
- ④ 公共施設の復旧
- ⑤ 防災拠点の強化

被害が甚大な地域の土地利用

- ① 地区の整備方針
大規模災害により社会基盤やライフラインが寸断された場合等に備えた代替措置の確保・多重化／今後も浸水が想定される区域における居住誘導を含めた土地利用の検討

(2) 確実な避難を実現する仕組みづくり

避難計画等の見直し

- ① 地域防災計画・総合防災マップ(ハザードマップ)・タイムラインの見直し

緊急避難場所及び避難ルートの確保

- ① 身近で安全に避難できる緊急避難場所の確保
- ② 避難ルートの確保

避難所の見直し・機能強化

情報伝達・避難誘導対策

- ① 伝達手段の多重化とわかりやすい情報発信
- ② 被災地の災害リスク「見える化」による避難誘導

市の防災体制強化

- ① 災害対応マニュアル等の見直し
- ② 防災・危機管理専門職の配置・職員の防災対応能力向上
- ③ 災害応援協定のさらなる推進

災害対応マニュアルや業務継続計画、球磨川タイムライン等の見直し・改善による防災体制の強化／身近で安全に避難できる緊急避難場所の確保、避難ルートの多重化による「逃げ遅れゼロ」／緊急時の防災・避難情報を伝える情報伝達機能の多重化／災害リスクの「見える化」に向けた環境整備の推進／防災・危機管理専門職の配置等による市の防災対応力強化

(3) 地域全体で災害に備える体制づくり

共助の仕組みづくり

- ① 地区防災計画の策定
- ② 避難行動要支援者の避難支援体制強化
- ③ 地域の防災体制強化

共助を支える人づくり

- ① 自主防災組織や消防団の体制強化

防災意識の醸成

- ① 避難意識の定着化
- ② 災害の記憶の伝承

災害から身を守る

自主防災組織の活性化、地域防災力の向上、一人ひとりの防災意識の向上に向けた取組／避難行動要支援者の確実な避難につなげる支援体制の再構築／災害時に生きる実践的な研修、地域防災リーダーの育成、資機材の配備等の支援

未来につながるまちづくり

1

新たな
まちづくり

○市民が住み続けたいと感じることができ、国内外の多くの方が訪れたいと思えるような、未来を見据えたまちの再興への挑戦

○人吉球磨地域全体の発展、地方都市の再生モデルへ

2

人吉に住みたくなる
しごとづくり

- ① スマート林業のトップモデル形成
- ② 地域特性を活用した知の集積拠点づくり
- ③ 地域資源をフル活用したゼロカーボンシティの形成
- ④ 特色を生かした手しごと町屋集積等による観光地の面的魅力向上
- ⑤ インパウンドに特化した観光コンテンツの構築
- ⑥ 起業・創業を生み出す仕組みづくり
- ⑦ サテライトオフィスの確保や空き家活用による移住・定住環境づくり
- ⑧ 「おひとよし」ファンクラブ形成による積極的な情報発信
- ⑨ 地域総ぐるみで故郷出身者を支えるネットワークづくり
- ⑩ 未来型復興による持続可能な地域づくり

～被害状況や地域特性を踏まえた復興施策パッケージ～

ソフト対策

地域経済の再生・復興

- 被災した事業者の事業継続や雇用維持等支援
- 観光を含めた賑わい創出支援
- 販路拡大やスマート化による競争力強化
- 地域活性化に繋がる企業等誘致

確実な避難を実現する仕組みづくり

- ハザードマップやタイムラインの見直し
- 情報伝達手段の多重化と災害リスクの「見える化」による避難誘導
- 災害応援協定の推進

被災者に寄り添った生活支援

- 被災者の状況に配慮した総合的な被災者支援
- 被災した子ども達の校区外就学等柔軟な対応

地域全体で災害に備える体制づくり

- 避難行動要支援者の避難支援体制強化
- マイタイムラインの普及促進
- 自主防災組織や消防団の体制強化

安定した住まいの再建・確保

- 被災者に対する住まいの再建支援
- 住宅融資等に係る利子助成

地域コミュニティの再生

- 地域コミュニティの再構築等支援
- 災害に強いまちづくりに向けた取組

河川沿いの住宅地

河川沿いの住宅地では、安全な住まいの確保に取り組みます。また、今後の災害時に確実な避難を実現するため、避難場所の確保や避難ルートの整備を進めます。

市街地中心部

被害が甚大な市街地中心部では、基盤整備や共同での再建事業等により、市街地の復興に取り組みます。ハードの再建に併せて、人吉球磨地域の復興を支える力強い地域経済の再生を進めます。

浸水被害の大きい地域

被害が甚大で今後も浸水が想定される区域については、安全な場所への移転も含め、恒久的な住まいの確保に取り組みます。住まいの再建に併せて、被災者のくらし再建やコミュニティの再生を図ります。

暮らしを支える生活基盤等の復旧

- 梅雨時期や台風時期に備えたインフラの緊急復旧
- JR肥薩線、くま川鉄道の早期復旧と復旧までの代替手段確保
- 人吉城跡や国宝青井阿蘇神社といった地域の宝である文化財等の復旧

地域コミュニティの再生

- 地域コミュニティの活動拠点となる自治公民館の再建支援
- 消防団詰所や防火水槽の復旧など地域防災力の機能回復

安定した住まいの再建・確保

- 災害の危険性がある区域内の住宅について、かさ上げ等による宅地再生や高台等の安全な場所への移転
- 自力での住宅再建が困難な被災者に向けた災害公営住宅の建設等

ハード対策

災害に強い都市基盤づくり

- 道路・橋りょう、上下水道等ライフラインや市庁舎といった防災拠点の強靱化
- 避難路の整備や緊急輸送道路の多重化
- 防災行政無線の戸別受信機配布など通信基盤強化
- 被害が甚大な地域の居住誘導等の取組を含めた土地利用

農地、農業用施設や林道等の復旧

- 早期の営農再開にむけた農地や農業用施設の機能回復
- 災害に強い林道・森林作業道への復旧

確実な避難を実現する仕組みづくり

- 身近で安全に避難できる緊急避難場所の確保や避難ルート上の確保
- 指定避難所等の強化や備蓄倉庫の整備
- 標識等の設置によるまちなかへの災害リスクの見える化